

『なぜ外国語を勉強するのか』

皆さんはこれまで海外旅行をしたことがありますか？現代において、海外に出かけることはそれほど大変なことではなくなってきました。国と国との壁が低くなり、人や物が自由に行き来できるようになりました。インターネットを通じて、世界中の情報も入ってきます。それでも私たちが知らない国は、この世の中にたくさんあるのではないのでしょうか。見知らぬ国に住む人々とは、もちろん音楽やスポーツを通してコミュニケーションを取ることができます。でも更に深いレベルで理解し合おうとするならば、言葉が使えると便利です。また問題が生じたときには、対立ではなくて、対話を通して解決しなければならないはず。つまり対話をするためには、言語を学ばなければなりません。

ことばを学び、それを通して様々な文化や価値観に触れる機会を得ることは、これからの国際社会で生きる上でとても大切です。

そこで皆さんは、大学生活の中で海外へ出かけてみたいと思いませんか？一歩日本を出ると、ほとんどの場合、一人で行動することになります。誰も手取り足取り教えてくれない状況の中で、すべて自分で考えて行動しなければなりません。電車に乗るのも、食べ物を買うのも、はじめは一苦労でしょう。でも海外に出

かけることで、日本では決して出会うことができないような人達に遭遇して、刺激を受けます。日本とは全く異なる価値観の中で、「どうしてこの人達は幸福そうに生活しているのだろうか？」とか、「自分の日本での生活は本当に幸福なのだろうか？」などと考えさせられます。つまりホームグラウンドを離れることによって、何が本当に大切なのかということが見えてくるのです。日本に住んでいる限りなかなか体験できないプレッシャーをくぐり抜けると自信もつきます。若くて感受性豊かな学生時代に、これからの人生の基盤になる自分探しの旅に出かけてみたいとは思いませんか？そんな旅に出る時には、外国語ができると本当に重宝しますよ。

- 英語A1・2
- コーパス言語学
- 第二言語習得論
- キャリアイングリッシュI・II



阿部 真理子
(あべ まりこ)

英国ランカスター大学修士(TESOL)。英語A1/2、コーパス言語学、第二言語習得論を担当。専門は第二言語習得研究。日本人特有の習得メカニズムや学習上のつまずきについて研究しています。